

ニチレイロジグループ

2014年度事業報告会

2015年5月18日

【お問合せ先】

株式会社ニチレイロジグループ本社 経営企画部

Tel 03-3248-2175 Fax 03-3248-2130

株式会社ニチレイ 広報部

Tel 03-3248-2235 Fax 03-3248-2120

目次

1. 2014年度の事業報告 P.02～P.21
 - ① 企業概要
 - ② 事業活動の概要
 - ③ 事業概要（セグメント別）

2. 2015年3月期 決算概要 P.22～P.27
 - ① 決算概要
 - ② 業績の推移

3. 中期経営計画の進捗状況と2015年度の重点施策 P.28～P.33
 - ① 中期経営計画の進捗
 - ② 2015年度の重点施策概要



1. 2014年度の事業報告

グループ組織体制

(株)ニチレイロジグループ本社 (持株会社)

※2015.4.1現在

地域保管事業

(株)ニチレイ・ロジスティクス北海道

(株)ニチレイ・ロジスティクス東北

(株)ニチレイ・ロジスティクス関東

(株)キョクレイ

(株)ニチレイ・ロジスティクス東海

(株)ニチレイ・ロジスティクス関西

(株)ニチレイ・ロジスティクス中四国

(株)ニチレイ・ロジスティクス九州

エンジニアリング事業

(株)ニチレイ・ロジスティクス
エンジニアリング

物流ネットワーク事業

3PL

(株)ロジスティクス・プランナー

運送・流通・PC

(株)ロジスティクス・ネットワーク

(株)NKトランス

子会社31社 関連会社6社



海外事業

欧州事業

Nichirei Holding Holland B.V.

Eurofrigo B.V.

HIWA Rotterdam Port Cold Stores B.V.

Thermottraffic Holland B.V.
Thermottraffic Strowmar LTD.

Thermottraffic GmbH

Frigo Logistics Sp.z o.o.

Transports Godfroy S.A.S

Entrepots Godfroy S.A.S

中国事業

上海鮮冷儲運有限公司

タイ事業 (関連会社)

SCG Nichirei Logistics Co.,Ltd.

ニチレイロジグループのミッション・ビジョン

【ミッション】

食品の物流を通じて、生活者の暮らしに貢献する。
(生活者に新鮮で安全な食品を効率良くお届けする)

【基本姿勢】

グループ中核事業として適正な収益を確保する。
常に顧客視点で全体最適を考え物流効率化を実現する。
また、「品質・環境・安全」を最優先の経営課題とする。

【事業ビジョン】

食品物流事業者No.1の地位確立に向け、グループ全体が持つ3PL、保管、仕分け、流通加工、輸送、配送、情報システム等、各機能の有機的な組み合わせにより、サプライチェーン全体にわたる物流の高度化と効率化を提案しつつける。

ニチレイロジグループのブランドステートメント

【ブランドスローガン】

選ばれつづける仕事。

【ブランドステートメント】

ニチレイロジグループは
確かな専門知識と総合力に加え、
社員ひとりひとりの新しい発想と提案力をもって
これからの低温物流をリードし、
日本の「食」を支え続けます。

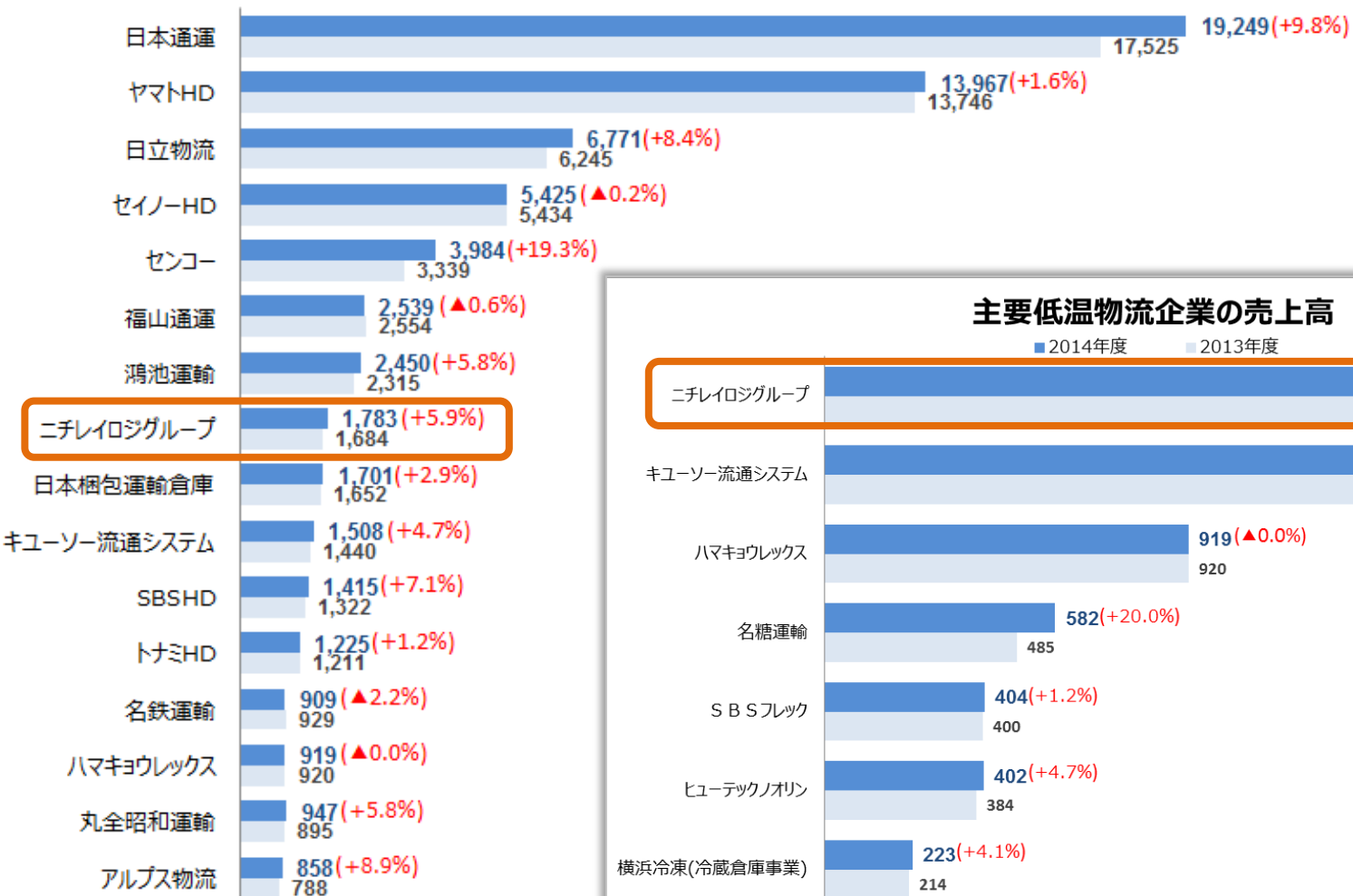


ニチレイロジグループのポジション①

主要物流企業（陸運）の売上高

単位：億円

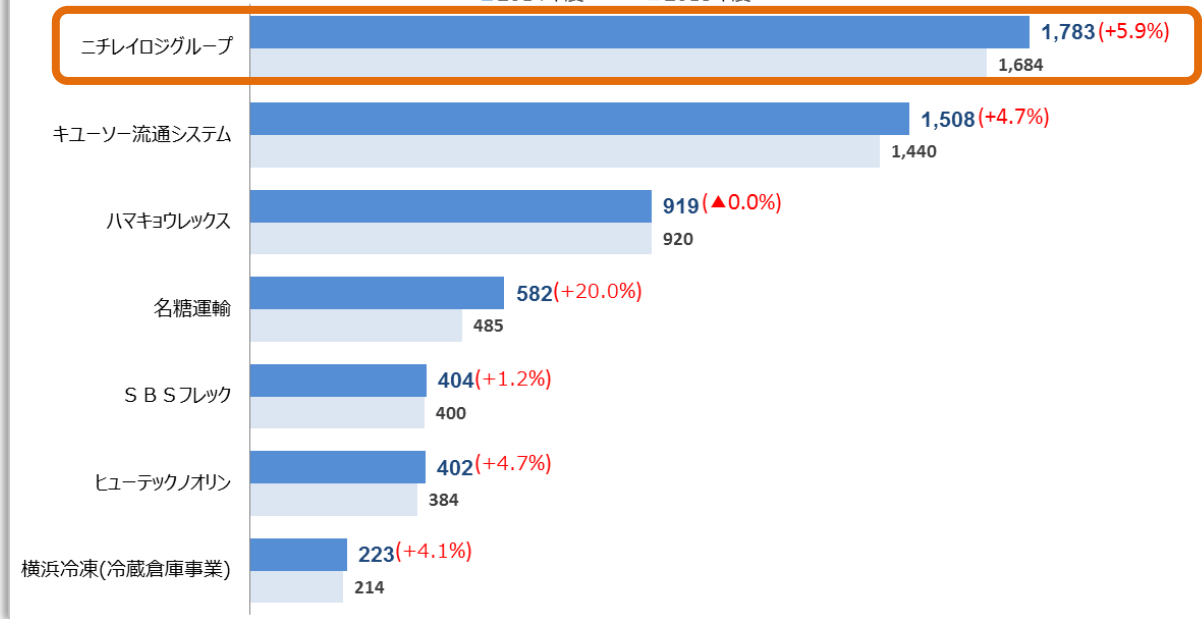
■ 2014年度 ■ 2013年度



主要低温物流企業の売上高

単位：億円

■ 2014年度 ■ 2013年度



※トラックによる輸送を主とする物流会社を選定

※各社決算短信（2015年5月13日時点の最新版）における年度実績数値を基に作成

1-① 企業概要

ニチレイロジグループのポジション②

冷蔵倉庫設備能力国内ランキング

※2014年12月現在

順位	会社名	設備能力(トン)	全国シェア
1	ニチレイロジグループ	1,429,120	10.3%
2	横浜冷凍(株)	771,394	5.6%
3	(株)マルハニチロ物流	605,286	4.4%
4	東洋水産(株)	475,268	3.4%
5	日水物流(株)	375,306	2.7%
6	(株)ヒューテックノオリン	266,105	1.9%
7	(株)松岡	240,526	1.7%
8	五十嵐冷蔵(株)	226,120	1.6%
9	(株)二葉	218,110	1.6%
10	(株)兵食	171,890	1.2%
11	鴻池運輸(株)	162,397	1.2%
12	(株)キューソー流通システム	138,855	1.0%
13	(株)ハウスイ	137,013	1.0%
14	寶船冷蔵(株)	136,615	1.0%
15	山手冷蔵(株)	111,142	0.8%
16	港湾冷蔵(株)	95,480	0.7%
17	東京豊海冷蔵(株)	74,483	0.5%
18	(株)辻野	69,418	0.5%
19	川西倉庫(株)	63,525	0.5%
20	昭和冷蔵(株)	61,195	0.4%

※出所：日本冷蔵倉庫協会統計資料
 ※全国シェアは、営業用・自家用合計所管容積より算出

冷蔵倉庫設備能力世界ランキング

※2015年3月現在

順位	Company	Locations	Capacity (m3)
1	Americold Logistics	United states, etc.	28,095,138
2	Lineage Logistics	United states	16,998,329
3	Swire Group	United states, etc.	9,459,033
4	Preferred Freezer Services	United states, etc.	7,302,384
5	Nichirei Logistics Group, Inc.	Japan, etc.	4,315,673
6	Kloosterboer	Netherlands, etc.	3,522,707
7	VersaCold Logistics Services	Canada	3,380,950
8	Partner Logistics (ICSH B.V.)	Netherlands, etc.	2,860,594
9	Interstate Warehousing, Inc.	United states	2,335,274
10	AGRO Merchants Group, LLC	United states, etc.	2,264,739
11	Nordic Logistics and Warehousing, LLC	United states	1,980,137
12	Cloverleaf Cold Storage Co.	United states	1,840,131
13	Burriss Logistics	United states	1,764,974
14	Frialsa Frigorificos S.A. De C.V.	Mexico	1,724,274
15	MUK Logistik GmbH	Germany	1,720,500
16	Gruppo Marconi Logistica Integrata	Italy	1,559,999
17	Henningsen Cold Storage Co.	United states	1,522,207
18	Congebec Logistics, Inc.	Canada	1,406,212
19	Bring Frigo	Sweden, etc.	1,271,790
20	Hanson Logistics	United states	1,118,472

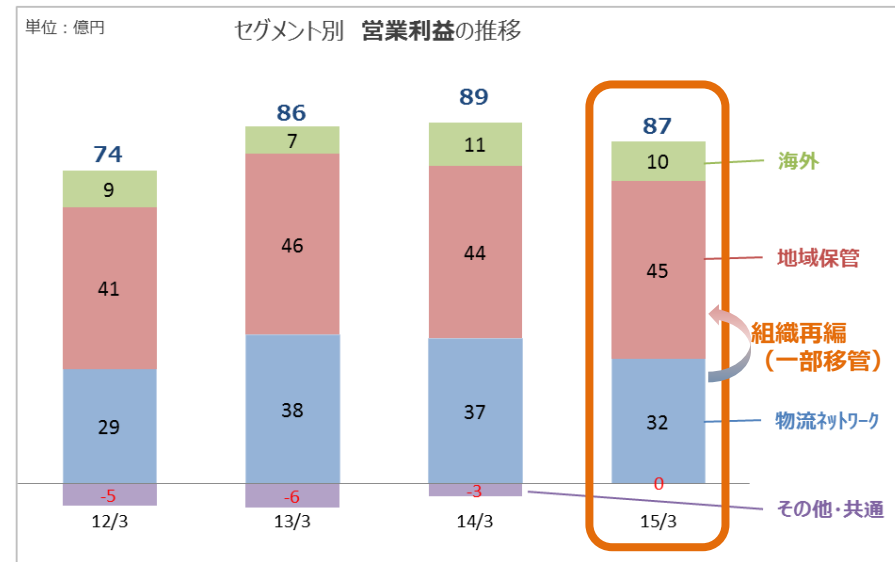
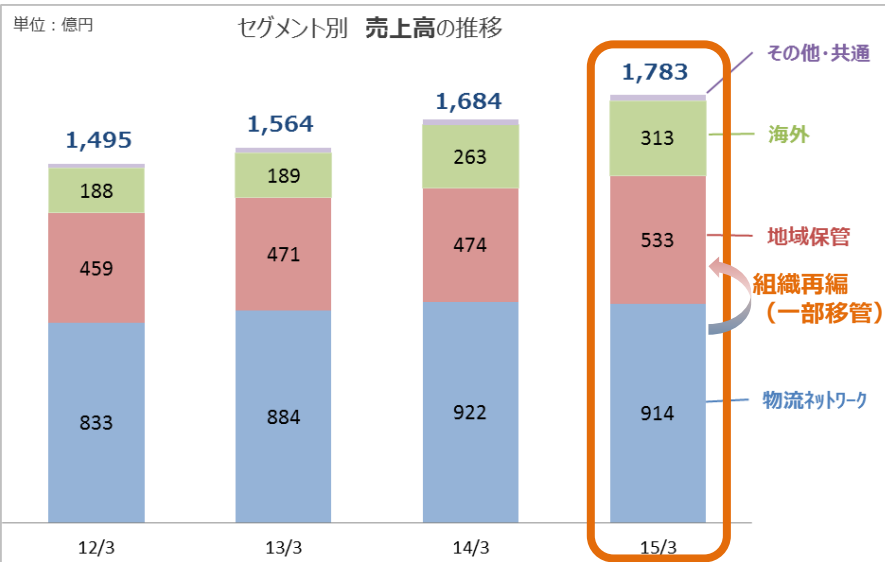
※出所：IARW（世界冷蔵倉庫協会）「Global Top 25 List」

1-② 事業活動の概要

売上高及び営業利益の推移

【売上高】 **1,783**億円 前期比+99億円、伸長率+5.9%

【営業利益】 **87**億円 前期比▲2億円、伸長率▲2.4%



2014年度の組織再編

地域保管

北海道 東北 関東 東海
関西 中国 四国 九州

物流ネットワーク

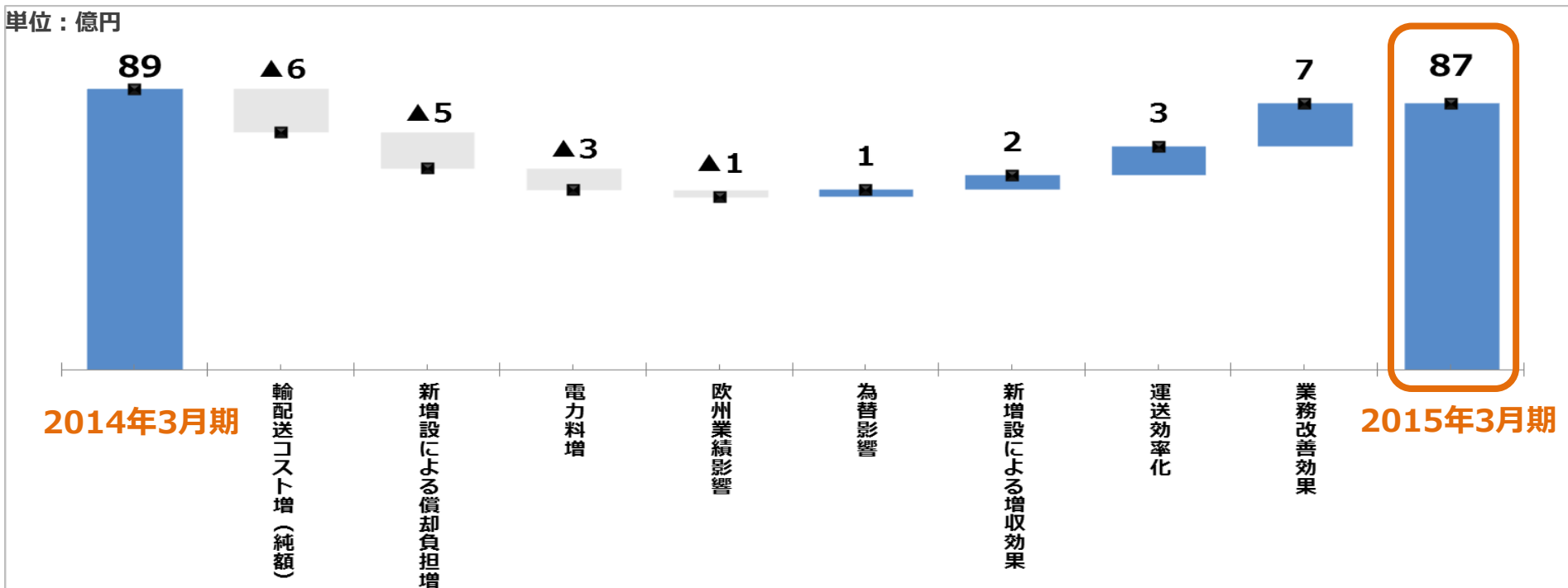
北海道 東北 関東 東海
関西 中国 四国 九州

- **物流ネットワーク事業**は、新規TC案件の稼働や幹線輸送の取扱増加などが寄与したものの、ドライバー不足に伴う車両調達コストの増加や電力料金の上昇が響き減益。
- **地域保管事業**は、電力料金や減価償却費の増加があったものの、大都市圏における旺盛な保管需要の取込みと新設センターの稼働などにより増収・増益。
- **海外事業**は、クロスボーダー輸送の拡大やイギリスにおける通関業務開始などにより増収となったものの、ロッテルダム港湾エリアにおける主力商材の在庫減少などにより減益。

※中国・四国は2013年度移管済

1-② 事業活動の概要

営業利益の増減要因



輸配送コスト増加への対応状況

- 運送効率の向上
 - ・ 積載率アップ
 - ・ 配送ルートの見直し・削減
- 幹線便の定時発着運行の実施
 - ・ スケジュールの厳格適用によるドライバーの時間外労働削減
 - ・ パレタイズ化による積込・積おろし時間の短縮
- 適正料金の収受

電力料増加への対応状況

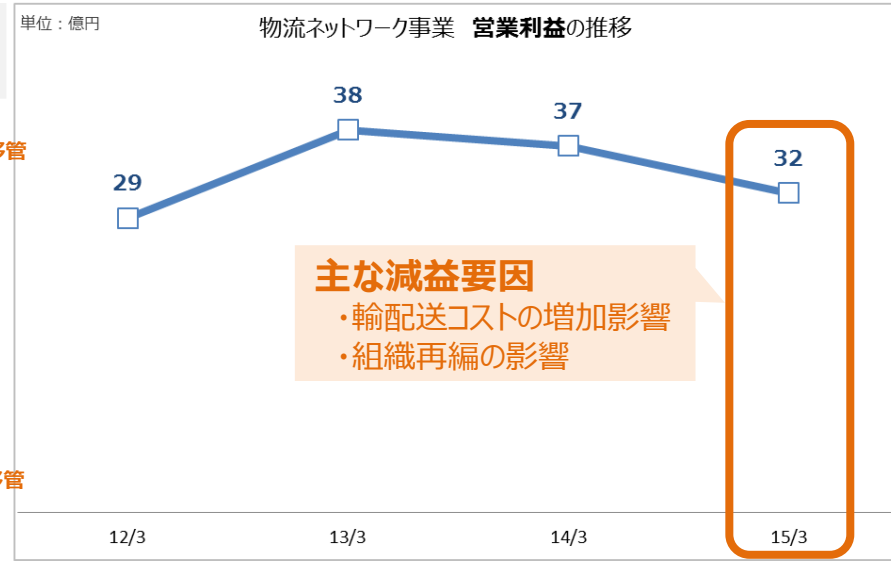
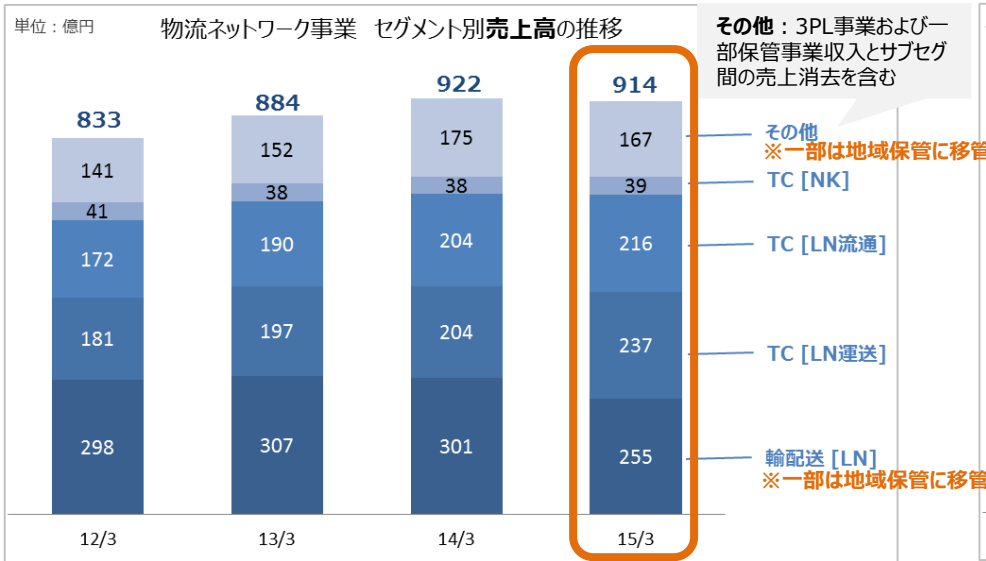
- 使用電力量の削減
 - ・ 照明設備のLED化
 - ・ センサーライトの導入
 - ・ 冷凍機、その他設備の点検強化によるエネルギー効率の向上
 - ・ 顧客との同意に基づく、商品特性に応じた温度設定への変更
 - ・ 基本動作の徹底によるこまめな節電

1-③ 事業概要 (セグメント別)

物流ネットワーク事業 <全体>

【売上高】 **914**億円 前期比▲8億円、伸長率▲0.9%

【営業利益】 **32**億円 前期比▲5億円、伸長率▲12.8%

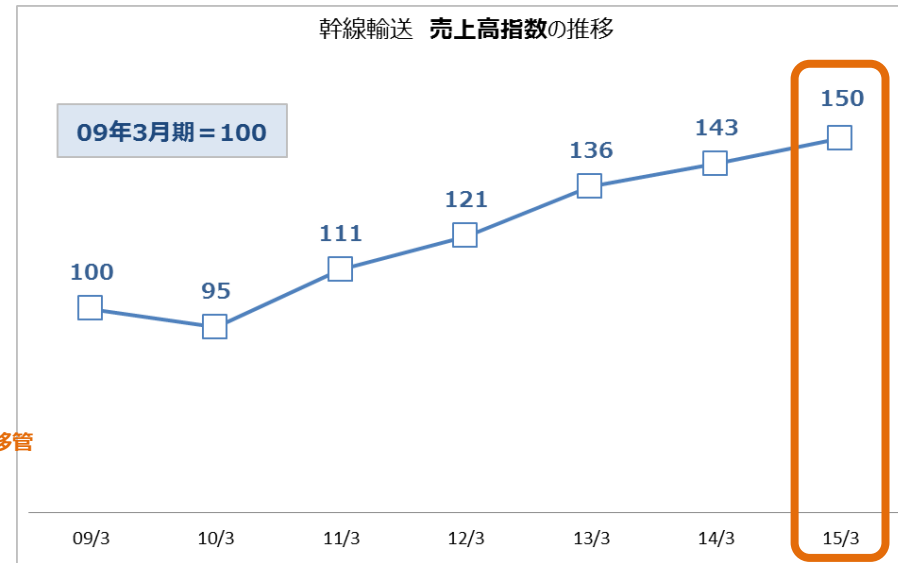
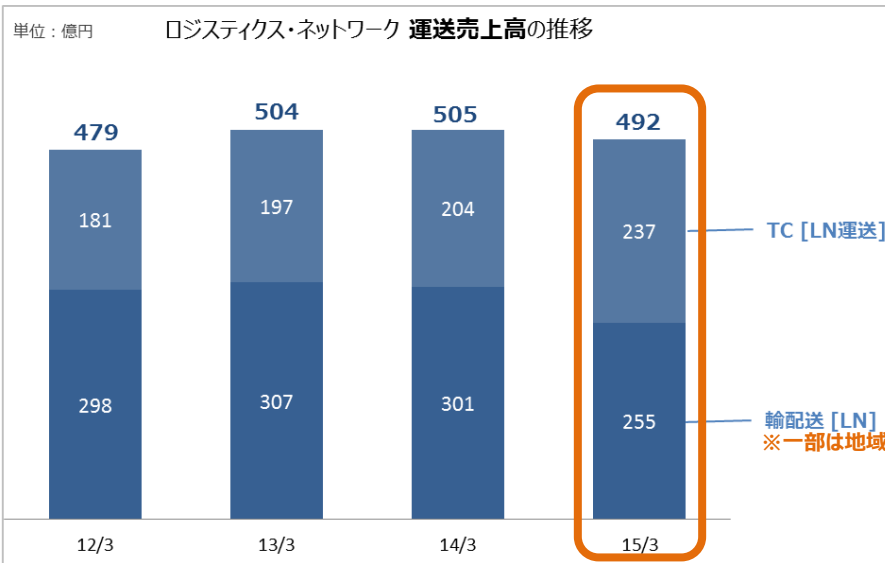


■ **物流ネットワーク事業総合**では、前期及び今期に稼働したセンターの貢献や既存顧客の取扱拡大などが寄与したTC事業が好調に推移。輸配送コスト負担の増加や電力料金の上昇、組織再編の影響などにより前期比ではマイナスとなるも、組織再編の影響を差し引くと、実質的には引き続きグループ全体の成長を牽引。

■ 大阪圏では、咲洲センターの稼働にあわせて拠点の再整備を実施（2015年度）。港湾エリアの大阪埠頭センター2号棟（34,000トン）を輸配送主体の活用へ切り替え、グループ輸配送事業の拡大を加速させる。

物流ネットワーク事業 < 運送 >

【売上高】 **492**億円 前期比▲13億円、伸長率▲2.6%

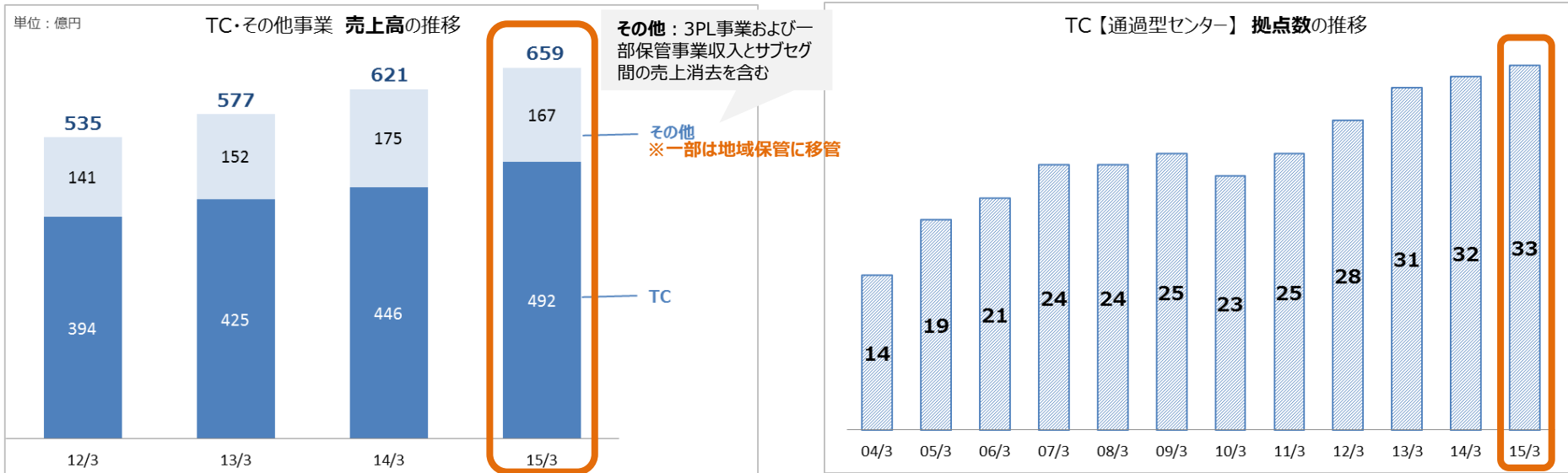


- **運送総合**は、TCにおける運送の拡大に加えて、幹線輸送の取扱も堅調に推移し着実に伸長。組織再編の影響で前期比では減少。
- **TC運送**については、前期及び当期に稼働したドラッグストア向け新センターの増収効果により大きく伸長。常温を含めた3温度帯対応や調達物流など、新たな事業領域における取扱物量の拡大も寄与。
- **輸配送**では、ロジスティクス・ネットワーク東扇島センターがフル稼働し、関東エリアの運送拠点能力と取扱物量が大幅に拡大。今後は各拠点の連携強化と拠点能力のフル活用により、取扱のもう一段の拡大と運送効率の向上に注力し、収益力の強化を図る。

1-③ 事業概要 (セグメント別)

物流ネットワーク事業 <TC・3PL>

【売上高】 **659**億円 前期比+38億円、伸長率+6.1%



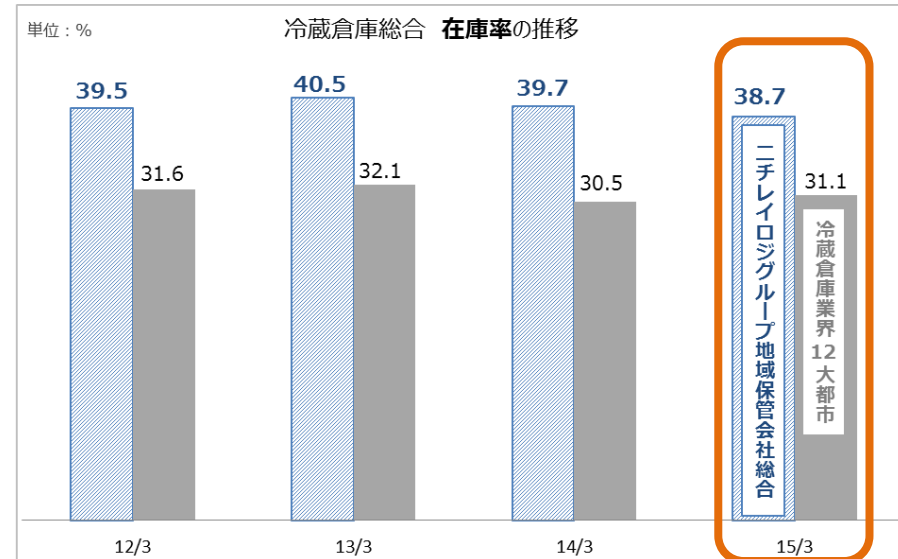
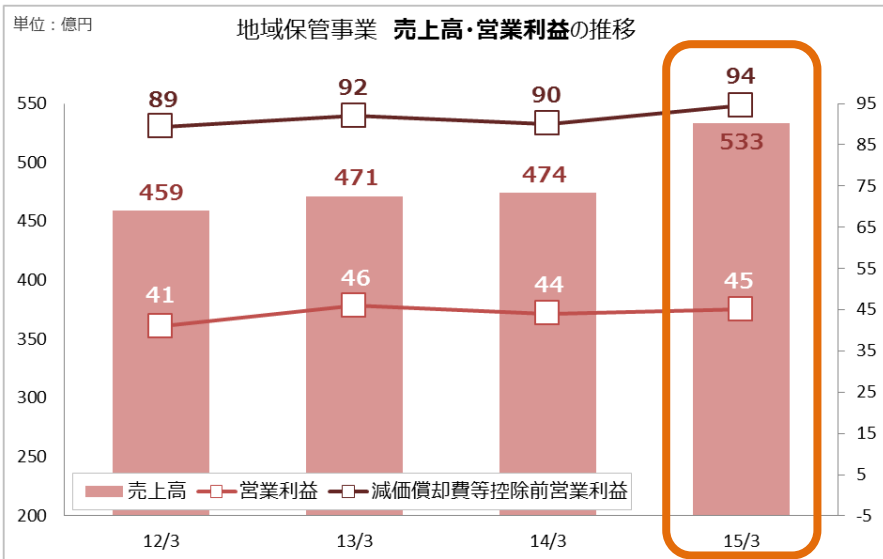
- **TC・3PL総合**では、組織再編の影響はあったものの、TC事業の拡大が寄与して増収。
- **TC事業**は、既存センターの取扱物量拡大（量販店向けの冷蔵・冷凍品）、新設センター稼働による取扱物量拡大（ドラッグストア向けの常温品）により大きく伸長。今後も3温度帯対応により小売店物流の包括受託を本格的に展開していく。
- **3PL事業**は、大手外食顧客の取扱物量拡大と共同配送の進展で堅調に推移。グループ各社との営業連携を一段と強化し、新規大口顧客の獲得を推進。

1-③ 事業概要 (セグメント別)

地域保管事業

【売上高】 **533**億円 前期比+59億円、伸長率+12.4%

【営業利益】 **45**億円 前期比+1億円、伸長率+2.5%



※冷蔵倉庫業界12大都市は日本冷蔵倉庫協会データより作成

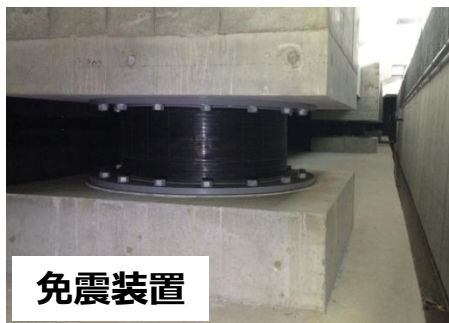
- **売上高**は、咲洲及び十勝センターの稼働などにより増加。近年増強した庫腹を活かして大都市圏を中心に取扱物量を拡大。特に関東港湾エリアにおいては、年度後半に東京団地冷蔵の再整備に伴う保管需要を確実に取込み、高水準の在庫率を維持。
- **営業利益**は、新設センター稼働に伴う減価償却費の増加や電力料金の一段の上昇、作業員の確保難に伴う人件費の増加などがあったが、東京・大阪圏の港湾地区における取扱物量拡大により増収。
- **地域ネットワーク化**については、2015年度は東海エリアの運送機能を受管。保管・運送の一体運営により、地域密着型の事業展開を加速し、地域産品の保管・運送需要を積極的に取り込んでいく。

地域保管事業：トピックス①

咲洲物流センター



所在地	: 大阪府大阪市住之江区南港中8丁目7-12
構造	: 鉄筋コンクリート造5階建 免震構造
設備能力	: 40,100トン (F級 30,493トン、F C級 8,752トン、 C級 855トン)
接車バース	: 冷蔵庫棟31基、荷捌棟14基
投資総額	: 8,826百万円
稼働時期	: 2014年10月



免震装置



冷凍機（自然冷媒）

■ 理想的なロケーション

- ・主要幹線道路へのアクセス良好

■ ニチレイロジグループ最高レベルのBCP対応

- ・免震構造の採用による世界最高水準の地震対策
- ・自家発電装置を設置
- ・モータープール液状化対策

■ 大阪南港エリアにおける保管能力シェア拡大

- ・咲洲物流センター稼働後シェア：32%



自家発電装置

地域保管事業：トピックス②

十勝物流センター



所在地	: 北海道河東郡音更町字音更西三線14-41
構造	: 鉄骨造平屋建
設備能力	: 8,140トン (F級 7,040トン、F C級 1,100トン)
接車バース	: 13基
投資総額	: 1,223百万円
稼働時期	: 2014年11月

■ 北海道内外幹線に適した理想的なロケーション

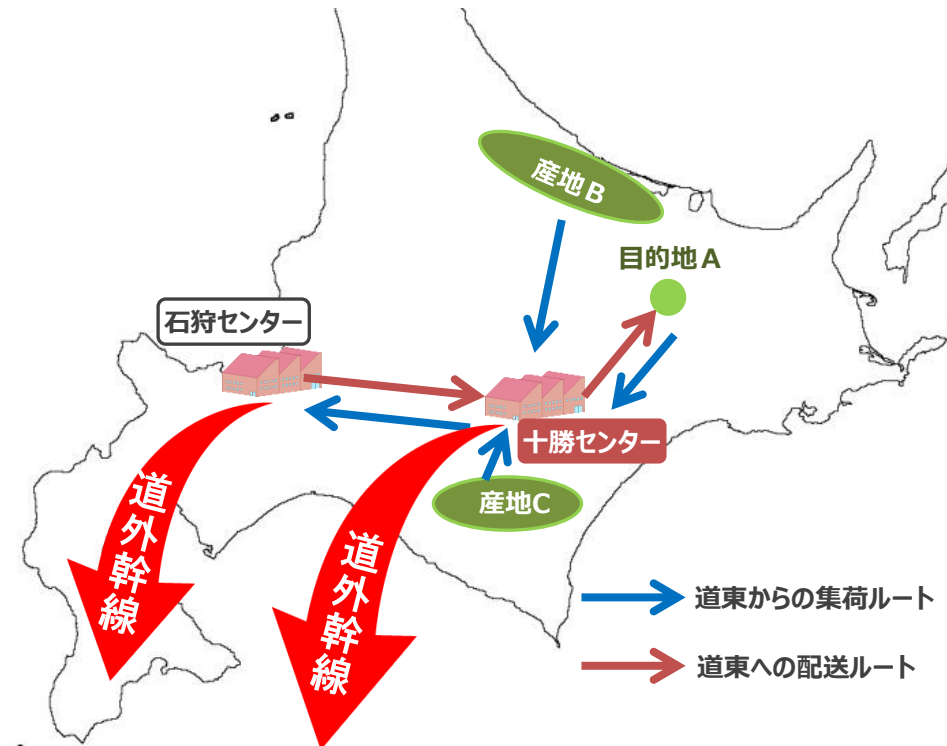
- ・北海道の東西中間地点
- ・音更帯広IC、帯広北バイパスに好アクセス
- ・苫小牧港よりフェリーを活用した道外幹線を構築

■ ドライバーの労働時間規制強化への対応

- ・中継機能により道内幹線便の一往復運行時間を約5時間短縮

■ 地域産品の保管需要の取り込み

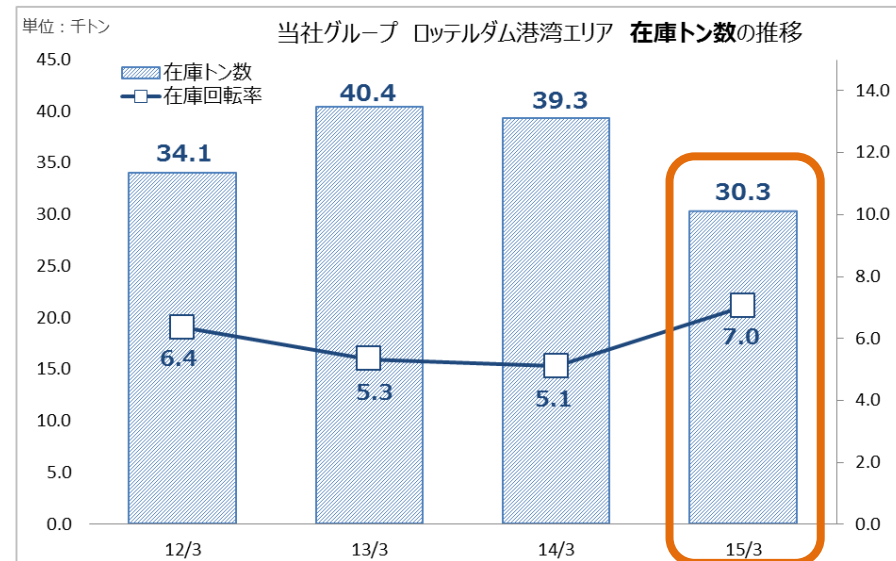
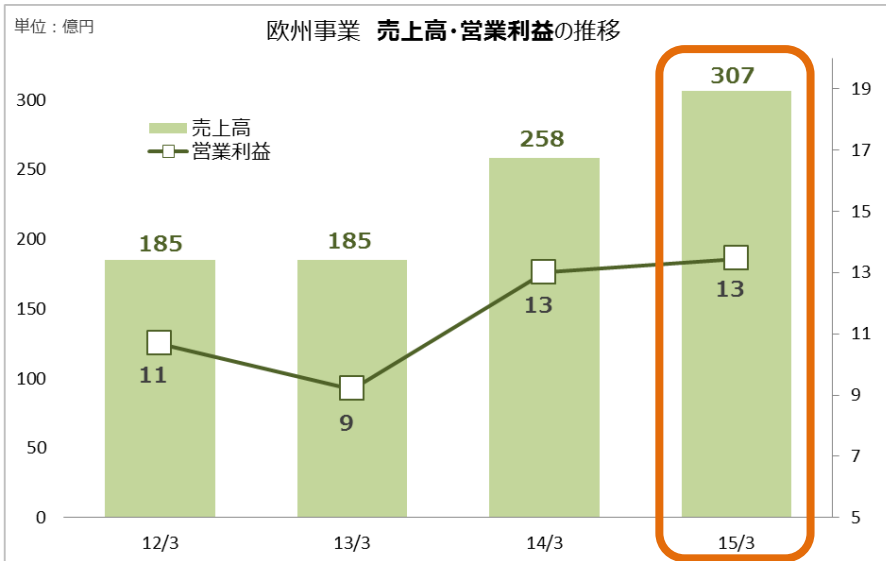
- ・十勝エリアの地域産品の保管拠点
- ・大都市圏への幹線輸送便の中継拠点



1-③ 事業概要 (セグメント別)

海外事業/欧州 <全体>

【売上高】 **307**億円 前期比+49億円、伸長率+18.8% 【営業利益】 **13**億円 前期比+0.5億円、伸長率+3.5%



※ユーロの為替レート：2011年度/111.1円、2012年度/102.6円、2013年度/129.7円、2014年度/140.4円

- **売上高**は、ロッテルダム港湾エリアにおける在庫が減少したものの、クロスボーダー輸送のエリア拡大、海上運送の取扱物量増加、大手小売店物流の獲得などにより大幅に増加。為替の影響もプラスに寄与。
- 9月より、新規事業としてイギリスにおける通関業務・コンテナ輸送業務を開始。取扱物量の拡大に注力するとともに、イギリス本格進出を視野に入れた市場分析も並行して実施。
- **営業利益**については、ロッテルダム港湾エリアにおける在庫減少の影響が大きかったものの、運送効率の向上や各社の事業拡大に伴う増収効果などでカバーし前期比ではプラス。ロッテルダム港湾エリアにおいては、ロケーションの優位性やチェックポイント機能(※)を武器に、輸入チキンに並ぶ新たな主力商材の獲得に注力。

※チェックポイント：動植物の検疫検査を行う場所。当社のロッテルダム港湾エリアの冷蔵倉庫は、検疫所から許可を受けたチェックポイント施設を保有している。

1-③ 事業概要 (セグメント別)

海外事業/欧州 <セグメント別>

運送系会社

- TTH : イギリスにおける通関及びコンテナ輸送業務を開始
- TTG : 欧州全域にわたる輸配送網を拡大
- GF : 備車活用による合理化を推進

保管系会社

- EF : ロッテルダム港湾エリアにおける集荷拡大に注力
- HIWA : 新規顧客獲得により2014年度後半から在庫回復基調
- FL : 新規小売店顧客の獲得により事業基盤拡大

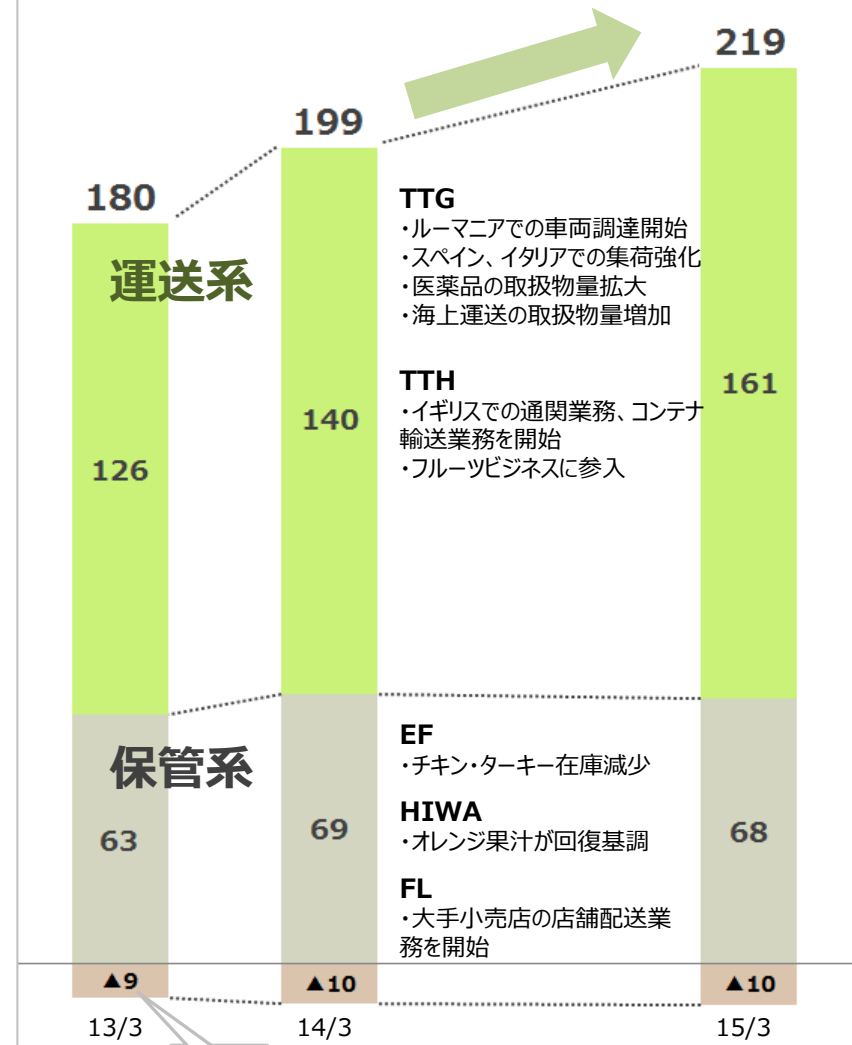
欧州各社概要

※2015/4/1現在

	会社名	事業内容	立地 (拠点または営業所)	設備能力 (m ³)
NHH	Nichirei Holding Holland ニチレイ ホールディング オランダ	持株会社	オランダ、ポーランド	-
TTH	Thermotrafic Holland テルモトラフィック オランダ	利用運送 フォワーディング	オランダ、ベルギー、UK	-
TTG	Thermotrafic Germany テルモトラフィック ドイツ	利用運送 フォワーディング	ドイツ、フランス、UK、デン マーク、リトアニア、ルーマニ ア、スペイン、イタリア	-
GF	Godfroy ゴドフロア	実運送 冷蔵倉庫	フランス	137,150
EF	Eurofrigo ユーロフリゴ	冷蔵倉庫	オランダ	581,250
HIWA	HIWA ヒワ	冷蔵倉庫	オランダ	393,125
FL	Frigo Logistics フリゴロジスティクス	冷蔵倉庫 利用運送	ポーランド	173,750

単位: 百万ユーロ

欧州事業 セグメント別売上高の推移



- TTG**
- ・ルーマニアでの車両調達開始
 - ・スペイン、イタリアでの集荷強化
 - ・医薬品の取扱物量拡大
 - ・海上運送の取扱物量増加

- TTH**
- ・イギリスでの通関業務、コンテナ輸送業務を開始
 - ・フルーツビジネスに参入

- EF**
- ・チキン・ターキー在庫減少

- HIWA**
- ・オレンジ果汁が回復基調

- FL**
- ・大手小売店の店舗配送業務を開始

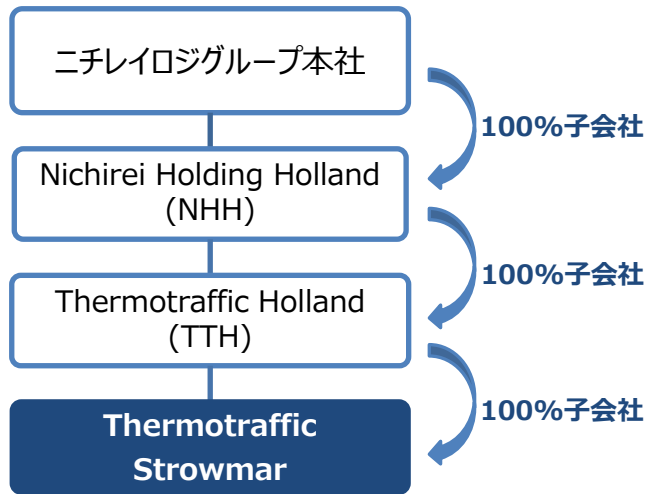
社内消去

1-③ 事業概要 (セグメント別)

海外事業：トピックス

イギリスにおいて通関業務開始

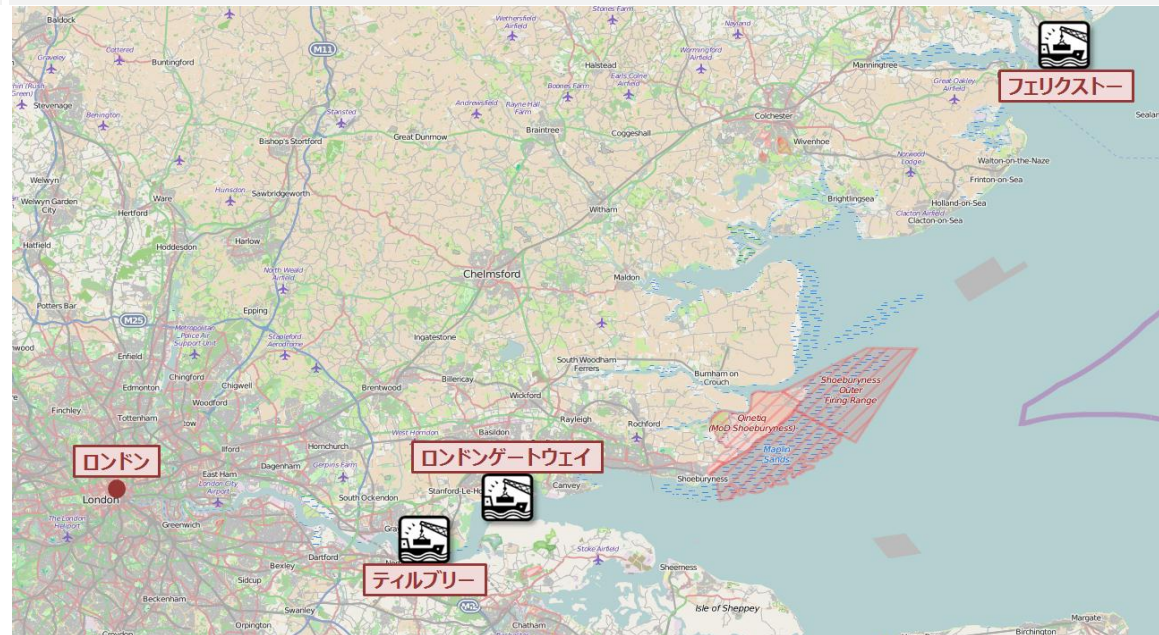
イギリス現地会社を設立



現地会社概要

社名	: Thermotrafic Strowmar LTD.
所在地	: Scottish Mutual House, 27-29 North Street, Hornchurch, Essex, RM11 1Rs, United Kingdom
設立	: 2014年9月
資本金	: 500千GBP
事業内容	: 通関業、利用運送業
役員構成	: TTHより1名、NHHより2名
従業員数	: 11名

ロケーション：ティルブリー



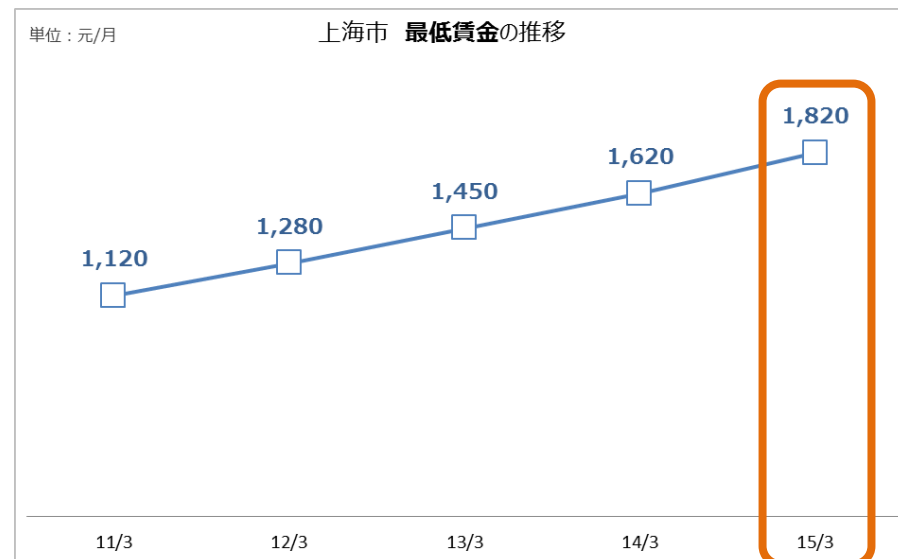
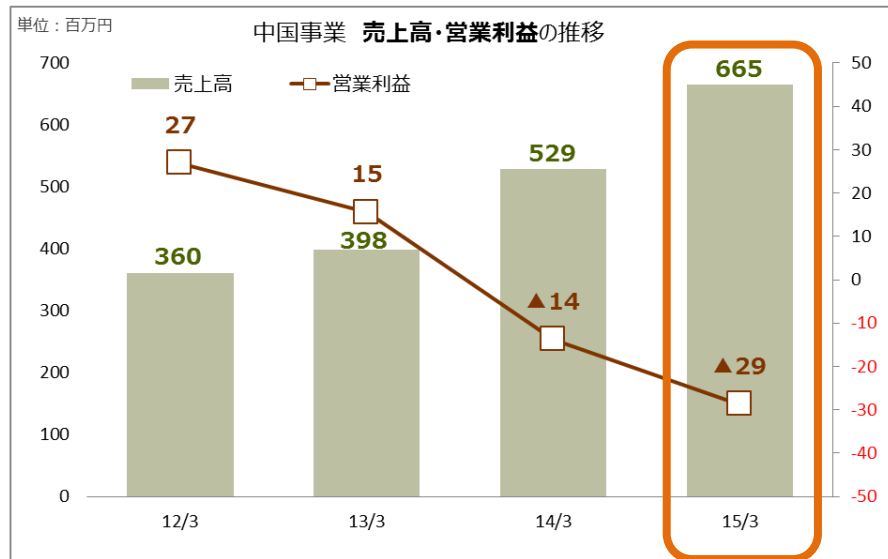
- ティルブリーはフェリクスターに次ぐ食品輸入の主要港
- フェリクスター、ロンドンゲートウェイ（新ターミナル）もサービスエリア内
- 港湾整備、通関システム改善によりイギリス揚げのコンテナ本数は増加傾向
- 陸送コスト削減の動きからもイギリス揚げのコンテナ本数は増加傾向
- TTHの既存顧客もイギリス揚げへのシフト中

増加するイギリス港湾エリアの輸入通関需要を取り込む

1-③ 事業概要 (セグメント別)

海外事業/中国

【売上高】665百万円 前期比+136百万円、伸長率+25.6%【営業利益】▲29百万円 前期比▲15百万円、伸長率▲107.7%



※元の為替レート：2011年度/12.4円、2012年度/12.7円、2013年度/15.9円、2014年度/17.2円

※当社調べ

- **売上高**は、主力のコンビニエンスストア店舗配送業務が堅調に推移したことに加えて、2014年10月より常温センターが稼働した効果もあり増収。
- **営業利益**は、中国における人件費高騰と、常温センター稼働に伴う立ち上げコストの影響もあり減益。
- 2014年下期に日本から改善チームを派遣し、現地社員と協働で抜本的な業務改善を実施。既に効果が現れてきており、2015年度は通期で黒字を見込む。

1-③ 事業概要 (セグメント別)

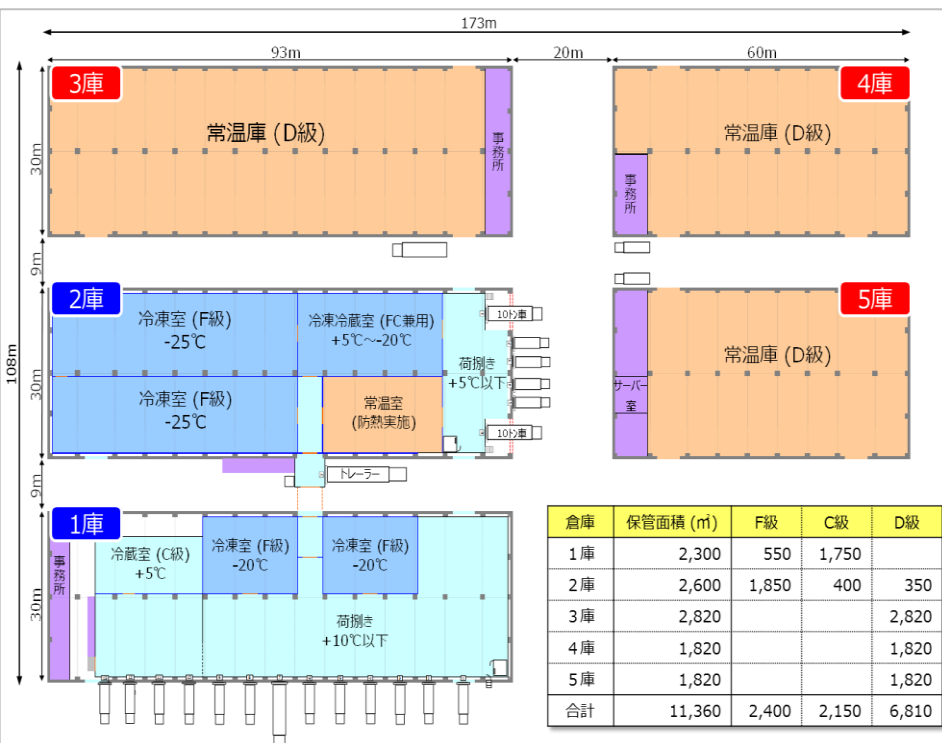
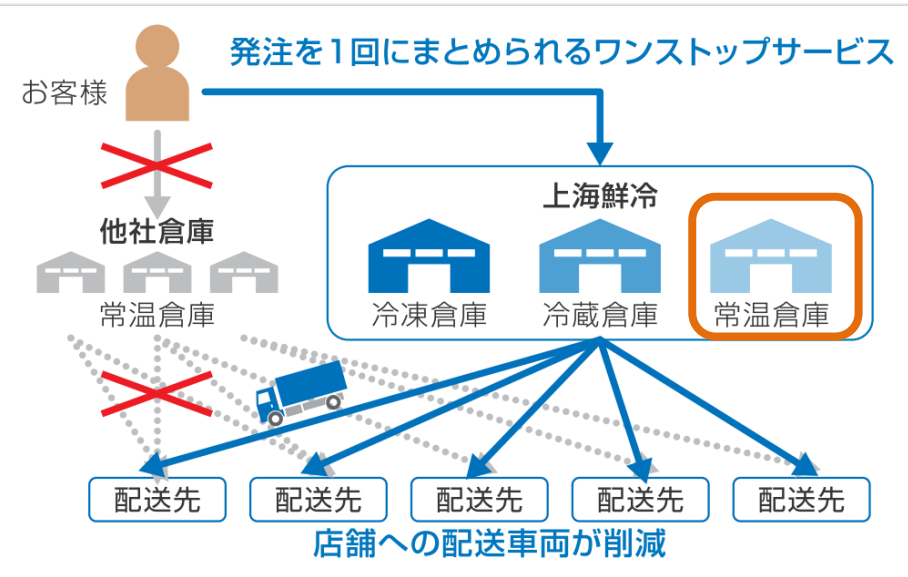
海外事業/中国：トピックス

常温センター稼働

上海ローソン様へ

3温度帯の店舗配送サービスをご提供

- 3温度帯の在庫を一元管理
- 検品・在庫確認作業を効率化
- 混載配送により配送コストを削減



1-③ 事業概要 (セグメント別)

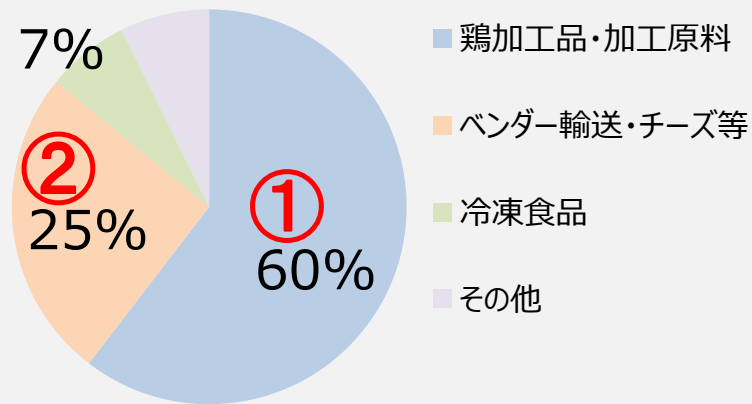
海外事業/タイ



SCG Nichirei Logistics Co., Ltd.

所在地 : 173 Moo 16, Bangsaothong, Samutprakarn 10540, Thailand
設備能力 : 22,800トン (F級 11,400トン、F C級 11,400トン)
稼働時期 : 2014年11月
接車バース : 22基
車両 : 自社9台、傭車4台
その他 : LED照明、内部陽圧装置、エアシelter、移動ラック導入
システム : クラウド型倉庫管理システム導入
 (倉庫管理機能、EDI、お客様向けWEB機能、多言語対応)

売上高の構成比 (%)



現在の取組み

- ① チキン原料のサプライヤーと、その原料を使用する加工企業間の物流を連携し、輸出までのトータル物流の提供を拡大
- ② 保管と小売店への輸配送機能を組み合わせた川下物流のシェア拡大

2. 2015年3月期 決算概要

2014年度事業収支〈連結〉

単位：億円、端数四捨五入、（ ）内利益率

	前期	当期	前期比 (%)
売上高	1,684	1,783	5.9
営業利益	(5.7%) 89	(4.9%) 87	△ 2.4
経常利益	(4.4%) 69	(4.4%) 78	13.2
税引前利益	(4.2%) 65	(4.1%) 74	12.7
当期純利益	(2.3%) 35	(2.7%) 48	34.8

※利益率は1円単位で計算

2014年度事業収支<セグメント別>

(単位：百万円)

		前期	当期	前期比	増減率(%)
売上高	物流ネットワーク	92,225	91,423	△ 802	△ 0.9
	地域保管	47,417	53,312	5,894	12.4
	海外	26,331	31,322	4,990	19.0
	その他・共通	2,387	2,264	△ 123	△ 5.2
	合計	168,361	178,322	9,960	5.9
営業利益	物流ネットワーク	3,655	3,188	△ 467	△ 12.8
	地域保管	4,413	4,522	108	2.5
	海外	1,096	1,012	△ 83	△ 7.6
	その他・共通	△ 228	3	231	—
	合計	8,936	8,725	△ 210	△ 2.4

(注)

- 1 「地域保管」に「物流ネットワーク」の業務を一部統合
- 2 当期より一部取引の計上先を「地域保管」から「その他・共通」に変更したため、前期数値を組み替えて比較

財務指標に関する分析

		前期末	当期末
総資産	百万円	139,843	148,158
負債	百万円	77,751	81,847
うち、有利子負債	百万円	51,849	54,994
うち、有利子負債（リース債務除く）	百万円	33,352	36,175
純資産	百万円	62,091	66,311
D/E比率	倍	0.8	0.8
D/E比率（リース債務除く）	倍	0.5	0.5
自己資本比率	%	44.2%	44.5%
売上高	百万円	168,361	178,322
当期純利益	百万円	3,543	4,774
自己資本利益率（ROE）	%	6.0%	7.5%
総資産利益率（ROA）	%	2.6%	3.3%
総資産回転率	倍	1.2	1.2

注1：D/E比率の算出方法：有利子負債÷純資産（少数株主持分を除く）

2-① 決算概要

設備投資の状況

設備投資等の状況 (単位：百万円)

資本的支出		減価償却費	
当期支出額	うち、リース資産除く	当期償却額	うち、リース資産除く
14,093	9,947	9,221	5,954

(参考) リース資産を除いた設備投資等の状況 (単位：百万円)

設備投資			減価償却費		
前期	当期	前期比	前期	当期	前期比
9,011	9,947	935	5,800	5,954	153

〈主な設備投資〉 (単位：百万)

完了年月	会社名 事業所名	所在地	設備の内容	設備投資総額	当期計上額 (既計上額)	完成後の増加能力
平成26年 10月	(株)ニチレイ・ロジスティクス関西 咲洲物流センター	大阪市 住之江区	物流センターの新設	8,826	5,128 (8,826)	冷蔵 40,100t
平成26年 11月	(株)ニチレイ・ロジスティクス北海道 十勝物流センター	北海道 音更町	物流センターの新設	1,223	1,072 (1,223)	冷蔵 8,140t
平成27年 11月(予定)	(株)ロジスティクス・ネットワーク 船橋物流センター	千葉県 船橋市	物流センターの増設	※3,835	936 (936)	冷蔵 20,264t

注1：上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

注2：「設備投資総額」の※は、計画数値であります。

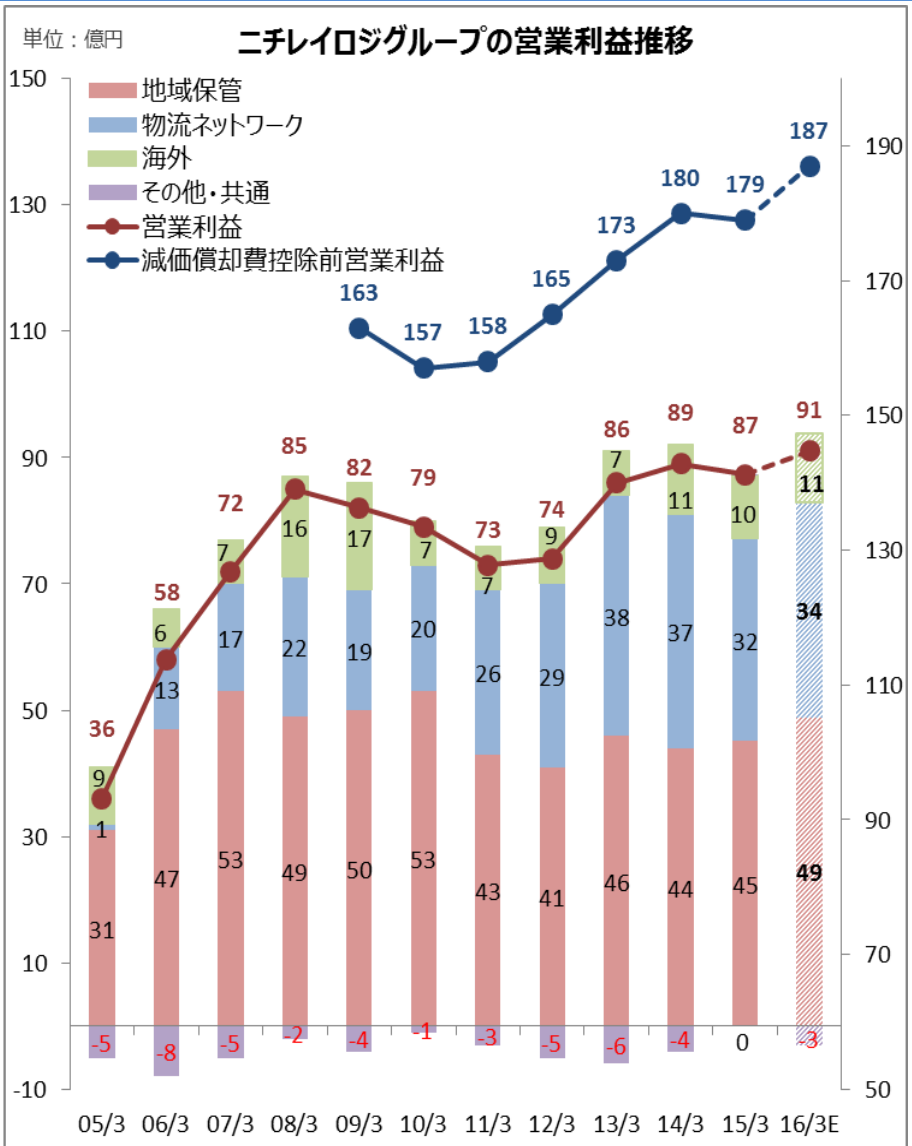
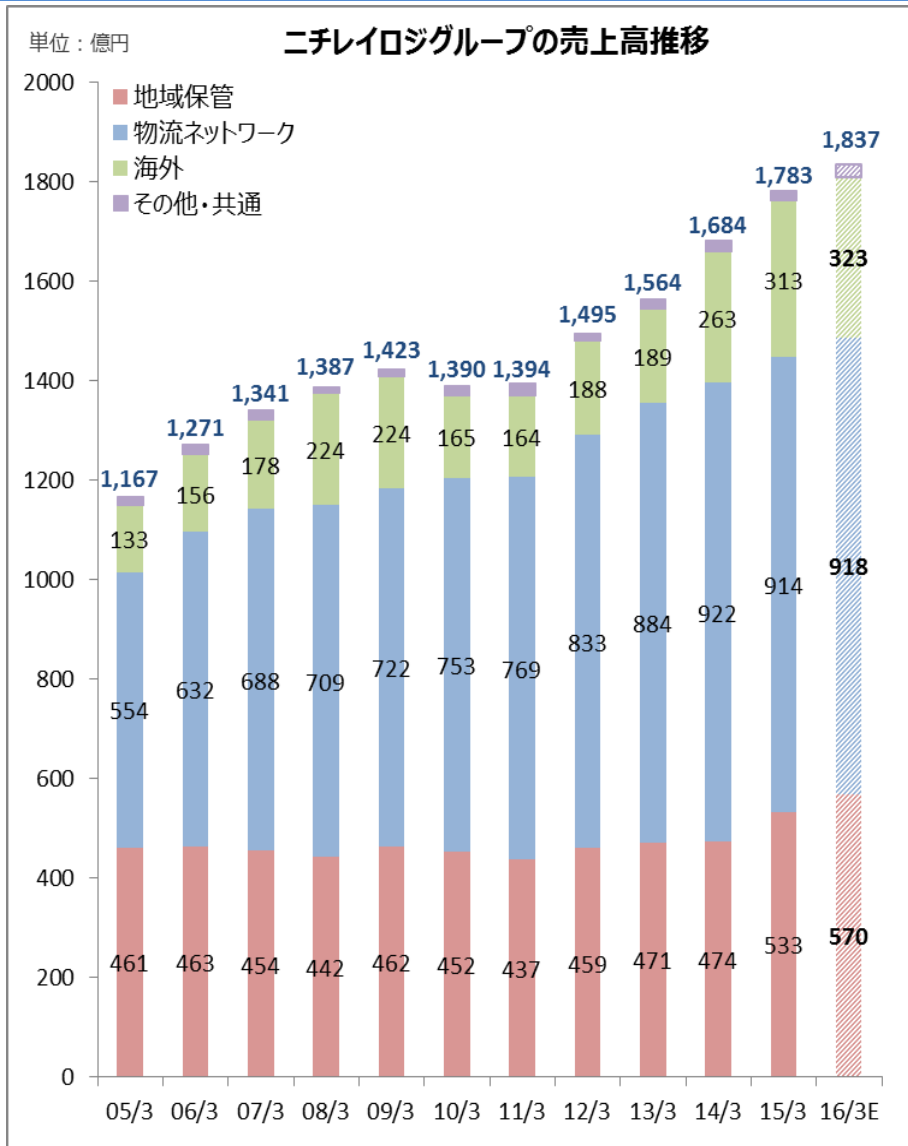
〈設備投資等の見通し〉平成28年3月期 (単位：百万円)

資本的支出	13,507
設備投資	12,847
減価償却費	9,599

リース資産を除く設備投資見通し

資本的支出	9,491
設備投資	9,128
減価償却費	6,260

売上高及び営業利益の推移



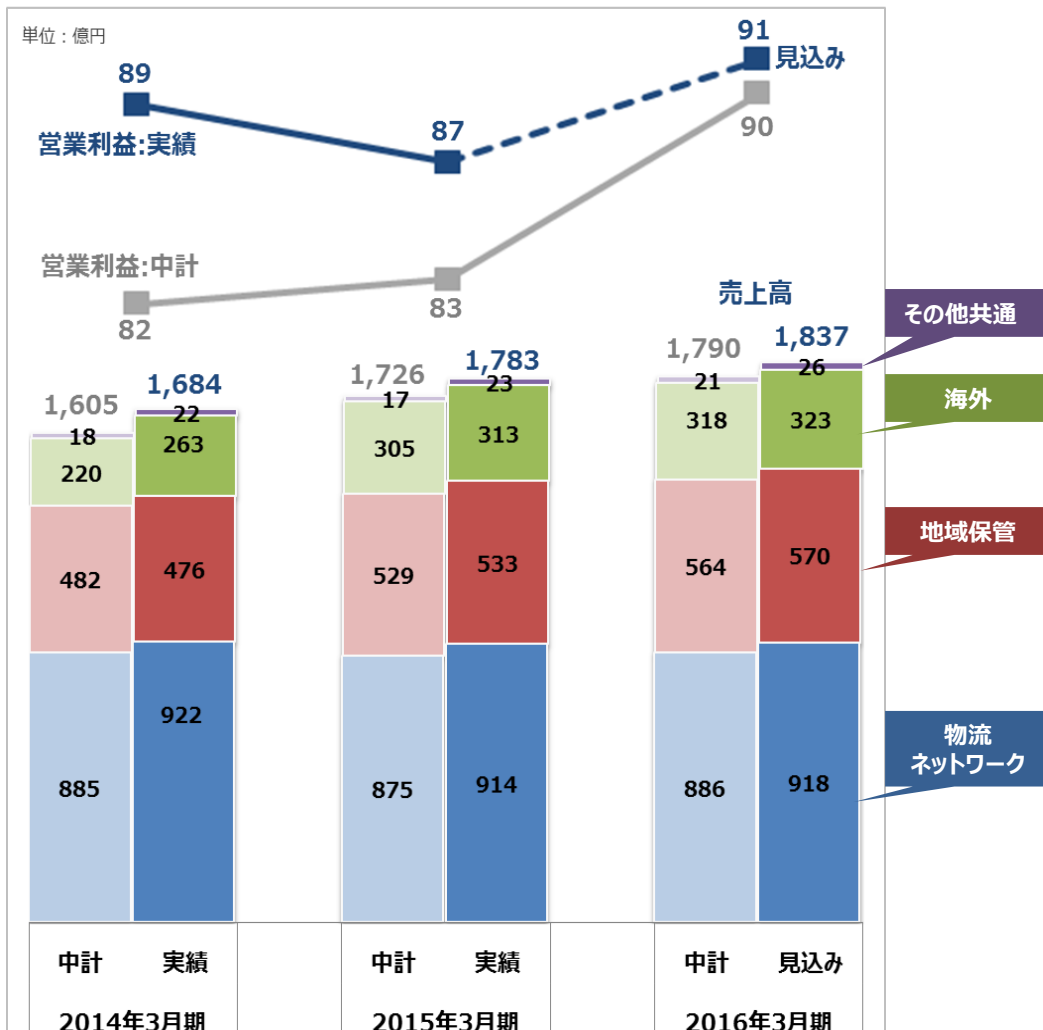
3. 中期経営計画の進捗と2015年度の重点施策

3-① 中期経営計画の進捗

中期経営計画の進捗と2015年度の目標数値・重点戦略

【売上高】 **1,837** 億円 前期比+54億円、伸長率+3.0%

【営業利益】 **91** 億円 前期比+4億円、伸長率+4.6%



課題

- 増強した保管能力のフル活用
- 地方エリアにおける事業基盤強化
- 運送効率の向上
- TC事業の新たな需要の掘り起こし
- 欧州事業の拡大加速

重点戦略

- 大都市圏における拠点再編
- 地域ネットワーク化の拡大
- 3PL機能の強化
- TC事業の事業領域拡大
- 欧州主要港における機能強化

国内事業

大都市圏における拠点再編

■ 保管・運送拠点能力の増強

- 2011年 東扇島センター稼働
- 2013年 東扇島センター増設
- 2014年 咲洲/十勝センター稼働
- 2015年 船橋センター増設

■ エリア・貨物特性に応じた再編

- 保管効率・作業効率の向上

■ 外部環境変化を見据えた再編

- 2018年の東京団地冷蔵再稼働

地域ネットワーク化の拡大

■ 進捗

- 2013年 中四国エリア
- 2014年 北海道/東北エリア
- 2015年 東海エリア

■ 保管・運送の一体営業

- 地域内の集荷力強化

■ 幹線輸送との連携強化

アセット有効活用

運送効率の向上

ロジスティクス・ネットワークによる
各社機能の融合と **3PL機能の強化** を通じた
グループ運送事業の拡大

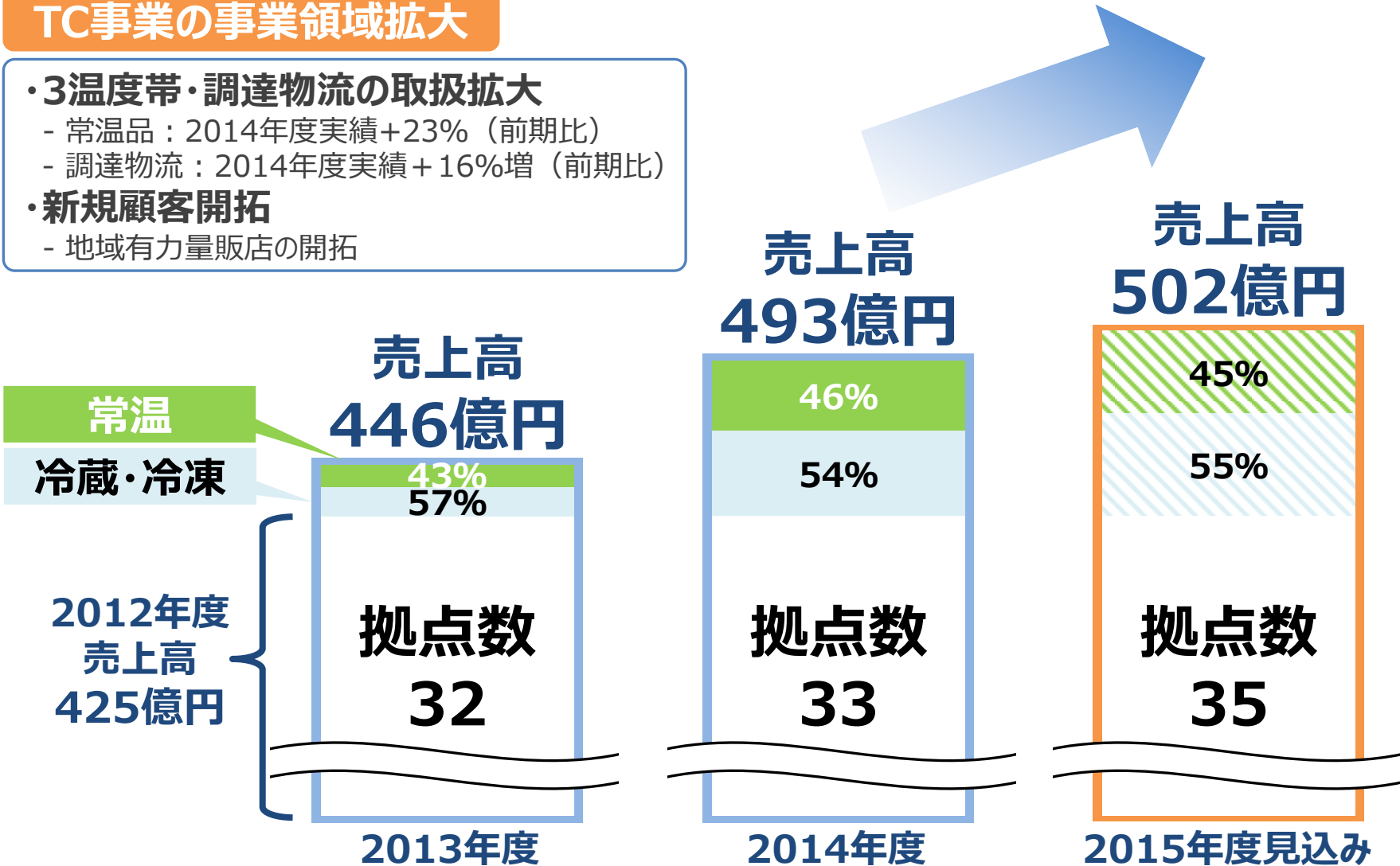
- ・大都市圏の保管需要取込
- ・幹線輸送の取扱物量拡大

- ・地域産品の保管需要取込
- ・幹線輸送の取扱物量拡大
- ・地域内配送の取扱拡大

国内事業

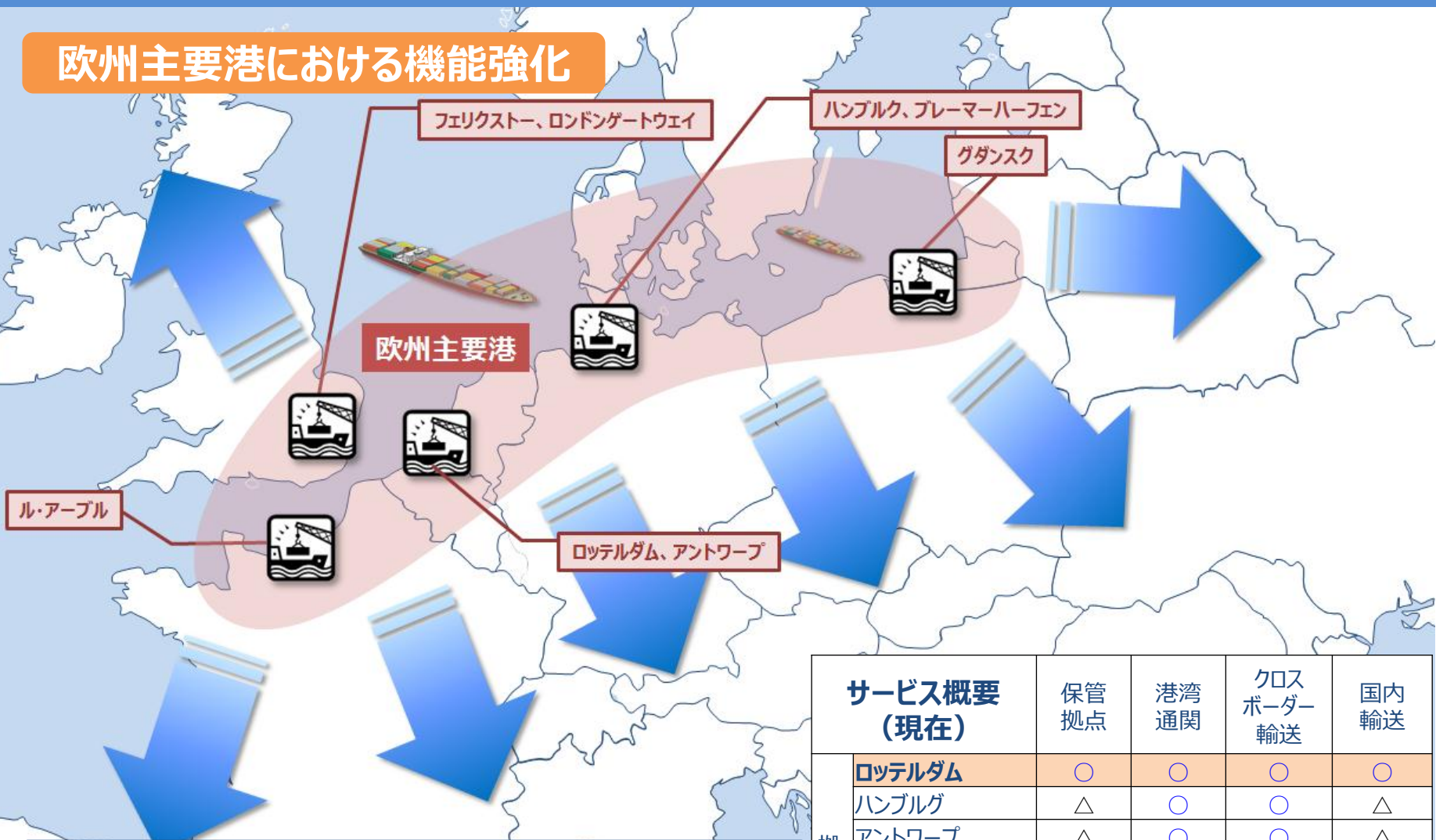
TC事業の事業領域拡大

- ・3温度帯・調達物流の取扱拡大
 - 常温品：2014年度実績+23%（前期比）
 - 調達物流：2014年度実績+16%増（前期比）
- ・新規顧客開拓
 - 地域有力量販店の開拓



海外事業

欧州主要港における機能強化



**「通関 + 保管 + 輸送」のパッケージサービスを
欧州主要港に展開**

サービス概要 (現在)	保管 拠点	港湾 通関	クロス ボーダー 輸送	国内 輸送
ロッテルダム	○	○	○	○
ハンブルグ	△	○	○	△
アントワープ	△	○	○	△
ブレーマーハーフェン	△	○	△	△
ル・アーブル	○	×	×	○
ティルブリー	△	○	-	○

拠点

《注意事項》

この説明資料に記載されている当グループの現在の計画、見通し、戦略などのうち、歴史的
事実でないものは、将来の業績に関する見通しであります。

将来の業績に関する見通しは、将来の営業活動や業績に関する説明における「確信」、「期
待」、「計画」、「戦略」、「見込み」、「予測」、「予想」その他これらの類義語を用いたものに限
定されるものではありません。これらの情報は、現在において入手可能な情報から得られた当
グループ^o 経営者の判断に基づいております。

実際の業績は、経済情勢および業界環境、為替レート変動、品質保証体制確立の実現
性、新サービスの実現性、成長戦略とローコスト構造の実現性、当グループと他社のアライア
ンス効果の実現性、偶発事象の結果、将来の出来事から発生する重要かつ予測不可能な
影響など、リスクや不確実な要素を含んでおりますので、業績見通しのみに全面的に依拠して
判断されることは、お控えいただきますようお願いいたします。